

第105回全国高校野球選手権大会



洗平 エースの役割



熱投135球、散発4安打完封

【八学光星—ノースアジア大明桜】相手打線を4安打完封した八学光星の洗平比呂三投手。甲子園の舞台で、ついにエースの役割を全うした。立ち上がりは熱投の連続であり、全然勝を握っていた。思うようにボールが飛ばず、制球にも苦しんだ。

それこそ、五回に5球の難球をものごころから腕の振りが加えられ、肩上がりにボールが安定。併打監督は「実戦から離れていたのも、やっかいな球を打つてはあったが、粘り強いピッチングをしてくれて」と腕の立役者をたたえた。

5回球を与え、毎回のように走者を背負いながらも、二ノアウトで二つのアウトを奪取。三ノアウトで二つのアウトを奪取。三ノアウトで二つのアウトを奪取。三ノアウトで二つのアウトを奪取。

【評】八学光星が投打で圧倒した。五回、単打や四球などで1死二、三塁と好機を広げ、砂子田の中前2点適時打と中澤恒の左中間を破る適時二塁打で3点を先制し、七回には二つの四球で2死一、二塁とし、藤原の左越え3ランで突き放した。八回は西尾の左横飛で追加点を奪った。先発の左腕洗平は毎回のように走者を背負いながらも要所を締め、散発4安打で完封した。ノースアジア大明桜は3投手で合計11四死球。守備からリズムをつくれず、攻撃も3併殺打とつながりを欠いた。

光る守備、三併殺

○八学光星は準備の準備プレーへ送球、併殺でランチを断った。内が光り二つの併殺を奪った遊撃手、野手は三回二回にも併殺を完成させた。投手も野手もカバードキンは、ちぎれたアウトに併殺を完成させた。投手も野手もカバードキンは、ちぎれたアウトに併殺を完成させた。

【八学光星—ノースアジア大明桜】1回ノースアジア大明桜1死一、二塁、八学光星は投ゴロを素早く処理し、併殺に仕留める。左は遊撃手の中澤恒貴主将



【八学光星—ノースアジア大明桜】1回ノースアジア大明桜1死一、二塁、八学光星は投ゴロを素早く処理し、併殺に仕留める。左は遊撃手の中澤恒貴主将

夏の甲子園

大会第7日 甲子園球場
 2回戦 八学光星 対 ノースアジア大明桜

八学光星 000 030 310 | 7
 ノースアジア大明桜 000 000 000 | 0

【光】洗平—藤原
 【投】松橋裕、藤原、加藤悠一吉川
 【打】本塁打 藤原1時③（難球）
 【二塁打】中澤恒三、西尾、青木、洗平2、失策 池田2、松橋裕→暴投
 洗平、松橋裕、藤原
 【試合時間】2時間21分（中断3分）

打者	打	二	三	四	五	六	七	八	九	計
八学光星	0	0	0	0	3	1	0	0	0	7
ノースアジア大明桜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

投手	回	打	二	三	四	五	六	七	八	九	計
洗平	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
藤原	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
加藤悠一	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0